

「太郎坊宮」について調べるには

標高350メートルの巨岩が露出した赤神山の中腹にある通称「太郎坊宮」は、「太郎坊さん」の名で市民に親しまれています。約1400年前の開基と伝えられ、天照皇大神の御子、正哉吾勝勝速日天忍穗耳尊を祀り、その名前から勝運授福の神として崇められています。また、厄除け・開運・商売繁盛にもご利益があるとされ、初詣をはじめお火焚大祭など年間を通じて多くの参拝者が訪れます。(『まるごと東近江市百科』より)



図書館の資料で調べる

① 太郎坊宮について調べる

◆ 『蒲生野 4号』 P4~P8 「太郎坊山と古代祭祀」

八日市郷土文化研究会、1970年

景山春樹氏による、山と信仰の関係性についてや「阿賀神社」の社名の由来に関する考察を掲載しています。

◆ 『蒲生野 8号』 P32~P34 「太郎坊権現と成願寺」

八日市郷土文化研究会、1973年

岡本台照氏による、太郎坊大権現が祀られている成願寺の歴史と阿賀神社の成り立ちについての文章を掲載しています。

◆ 『蒲生野 44号』 P73~P75 「太郎坊阿賀神社の由緒及び津島納祭礼の謂れについて」

八日市郷土文化研究会、2012年

山田富二男氏による、太郎坊阿賀神社の祭神「正哉吾勝勝速日天忍穗耳尊」がどのような神であるかの文章を掲載しています。

◆ 『近江の社寺』

滋賀県／編、1975年

滋賀県が編集した「近江の顔シリーズ」(全10巻)の第1巻目。「近江の社」については大津から湖東、湖北の順に紹介し、「近江の寺」については、宗派別に紹介しています。

◆ 『八日市市のむかし話』

八日市市教育委員会／編、1980年

次世代のために地域の文化を築き上げようという趣旨で旧八日市市のむかし話、民話、むらまつり、行事などについて記された1冊。太郎坊宮については「太郎坊宮の敬神の碑」として、石段の初段に建立されている碑について説明されています。

◆ 『気持ちのいい聖地 〈関西編〉』

フェルニッチ (fernich) / 著、青幻舎、2013年

関西にある気持ちのいい聖地50を紹介した本。太郎坊宮については4ページを割き、「夫婦の岩に挟まれて、平穏な境地にいたる」と紹介しています。

② 太郎坊宮の祭りについて調べる

◆ 『伸びゆく八日市市小脇郷』

八日市市立小脇町宮地域総合センター／編、1981年

八日市に伝わる歌として「太郎坊宮お田植祭り」のお田植歌の歌詞を掲載しています。また、明治45年に氏神様が太郎坊阿賀神社へ合祀されるまで毎年開催されていた小脇祭りについての記述もあります。

◆ 『滋賀の祭りと伝統行事100選』

しがぎん健康友の会・しがぎんみずうみクラブ／発行、1996年

滋賀県各地で開催されている多くの祭りや継承されている伝統行事の中から、独自の選択基準によって100選し、紹介した資料です。太郎坊宮でのお田植大祭とお火焚大祭についてカラー写真と文章で紹介しています。

◆ DVD 『太郎坊のお火焚き祭り』

東近江映像記録会／作製、2010年

2010年に行なわれた祭りの様子を撮影した映像資料です。

◆ 『太郎坊お火焚大祭』

北村 隆彦／作、2013年

2013年12月に行なわれた太郎坊宮お火焚大祭の様子を記録した写真集です。